

ビジター・ゲスト紹介

仁 平 源三郎 君 (通信機分布)	温海 R.C
佐 藤 孝二郎 君 (農 業)	余目 R.C
上 野 十九治 君 (空調設備)	} 鶴岡西 R.C
笹 本 森 雄 君 (ホ テ ル)	

会長報告

52. 9. 20 (火)

1. R.I 規定審議会での審議結果に対するクラブの賛否を検討するため、次の5名の方に規定研究委員を委嘱します。
鈴木 弥一郎 君、中 江 亮 君、三 井 健 君
佐 藤 順 治 君、上 野 三 郎 君、早 坂 源四郎 君
2. 去る9月18日(日)酒田東 R.C の創立10周年記念式典が、ガバナー代理平松パストガバナーはじめ約150名が参加して、酒田農協会館で挙行された。当クラブからも10数名の会員が出席してお祝い申し上げます。

幹事報告

1. 例会日、場所、時間変更
(1) 山形北 R.C
9月22日(木)の当クラブの例会はクラブフォーラムのため下記の通り変更
と き 9月24日(土) P.M 5:30
ところ 産業会館
2. 会報到着
(1) 新庄 R.C (2) 酒田 R.C
(3) 藤沢 R.C (4) 能代 R.C
3. その他 交換学生小池志保さんよりお便りが参って居ります。
4. 当地区年次大会本登録の申込期日が迫って参りました。現在迄の申込者は会員9名、ご家族2名、計11名となっております。
尚、出席ご希望の方は9月27日(次週例会日)迄事務局に申し込んで下さい。

委員会報告

青少年ボランティアグループ協議会の報告

I.C 委員長 小松 広 穂 君

去る9月15日9:30より16.00迄鶴岡工業高校インターアクトクラブのホストによる第9回鶴岡市学生ボランティアの集いが産業会館5階ホールにおいて6校約80名(鶴岡家専欠席)の出席を得て、非常に有意義な会合を持たれました。

オブザーバーとしてロータリアンは石井君、安藤君、小松君の3名、鶴岡ロータリークラブより3名、その他鶴岡社会福祉協議会より1名、ボランティアの先輩数名が出席されて居りました。

1. 最初に各学校のボランティア活動の現況についての発表があり。
2. アメリカにおける15才より90才迄の人達のボランティア活動の映画が上映されました。
3. その後5班の分科会に分かれ

議 題

- イ、学生ボランティアとしての責任
- ロ、学生ボランティアほどの程度迄受けとめられているか
(自分を犠牲にして迄やる必要があるか)
- ハ、活動していく上での時間と人数、資金不足をどうするか
- ニ、映画についての感想、意見
- ホ、奉仕と同情

以上につきフォーラムが行なわれ非常に活発な意見がかわされました。特に公園、校内、電話ボックスの清掃とかは問題はないが、思恩園とか、共同募金等の対人関係の伴うものは若干抵抗を感じる面もあるがそれを克服するのこそボランティア活動につながるものであるとの意見が多い様でした。

4. 昼食、レクリエーション全体会議があった様ですが、所要の為中座して帰りました。非常に真剣に活発な意見発表があった様に思われます。

中・高生英語弁論大会について

青少年委員長 菅原辰吉君

去る9月17日(土)青年センターで第29回田川地区中学校・高等学校英語弁論大会が開催されました。国際青少年交換委員長の迎田君のお世話で西校の交換学生ミス・ドーンさんも参加し、特別スピーチをしてくださいました。

中学生21人、高校生3人の弁士の中から

中学の部 鶴三中の富樫君(暗記)

鶴三中の小池君(自作)

高校の部 鶴工の福井さんに本会寄贈のトロフィーと賞状が送られました。

ロータリークラブに深く感謝申し上げて居る事を報告致します。

ロータリー道徳律に就いて

パストガバナー 早坂源四郎君

実は本年6月のサンフランシスコの規定審議会で国際ロータリー細則第16条に規定されて居る道徳律に関する規定を全部削除せよと云う提案が印度(インド)のボンベイ北R.Cから出されましたが、この提案は大多数の議員によって否決されてしまいました。その先頭に立って反対スピーチをしたのが元R.I会長のジェームス・コンウェイでありました。そして否決されたばかりでなく、6月4日の最終日に決議77-117で、現時点においては、全世界にわたり

道徳の高揚、復興をはからなければならないというのが本審議会の総意であるが故に、国際ロータリーは、第68回年次大会においてR. I 理事会は「ロータリー道徳律」の刊行と頒布の再開に努めるべき事を決議する」という事になったのであります。

少し説明を加えますと、この道徳律は1915年のサンフランシスコ大会で採託されたのでございますが、その後、R. I の理事会は(1928~29)この道徳律よりも、ロータリーの綱領に重点をおくことを決議いたしまして、更に亦1951~52の理事会は、印刷、配布する事をも中止し、現在ロータリアンの中でも、この道徳律の内容に就いて知らない方が多い。私は数年前より、この道徳律の重要な事に気付かしまして昨年と本年の2回にわたり地区協議会で皆様にお知らせしたのですが、それが愈々日の目を見る事になった次第です。

何故重要か、現在の綱領並びに四つのテストは、何れもその根源を道徳律より発していると申しても過言ではない。言葉を代えて申し上げると現在の綱領、四つのテスト、亦ロータリーの職業奉仕とは何ぞやと云う事を理解する上におきまして、非常に参考になります。

ロータリーは1905年ポールハリス等によってシカゴに誕生したのですが、当初は専ら親睦、と相互互惠主義、お互いに物質的にそして精神的に助け合う事が基調であったが、一部、地域社会に対する奉仕の考え方が芽生えて来て居った。1911年のポーランドの全米ロータリー連合会の折に、アーサー・シエルドンの「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と云うモットーと、更にミネアポリスの初代会長のフランク・コリンズのService Not Self (没我の奉仕) と云う2つの標語が発表され、ロータリーの理念が一步前進しました。この後者のService Not Selfは後に超我の奉仕と改められ共にロータリーの公式標語となって現在に至って居ります。

然しながらこの2つの標語だけでは、どうしても充分満足出来ない。ロータリーとしての基本的考え方、我々の日常の生活面、仕事の面でもっとがっちりとした目的を示す様な規範の様なものはないかと云う熱望が生れて来た。かくして1913年のパッファローの大会で会員の熱望により、特殊の倫理訓、道徳律の様なものを1年後のヒューストンの大会までに編さんする様に一つの委員会が任命され、その委員長にアイオワ州のSioux City R. C のロバート・ハント氏が任命されましたが、彼が転職したので、その仕事がJ. R. Perkins と云う牧師に委ねられたのです。然し時は徒らに過ぎて、ヒューストン大会まで、数週間となってしまいました。

パーキンスは、新しい友人数名と相談し作業に入ったのですが、各方面よりのロータリアンの意見を求めて取り纏めた草案は、約5,000語に及ぶものでした。この草案を持ってヒューストン行の汽車に乗りこんだのですが、汽車がカンサスシティに着きますと、シカゴからの大会行の特別車が接続されまして、それに背の高い肩巾の広いハーバート・アングスターと云うシカゴR. C のロータリアンが乗って来ました。

このアングスターが、彼等に協力を申し出て自分の特別室を提供してくれ、彼等はその好意を受け、テーブルを囲んで上衣を脱ぎネクタイをはずして汗を流しながら、この長い草案と取り組んだのです。彼等は使用済の封筒やら、紙の切れはし等を見付けて書き初めたのですが、その内誰かが鉄道用の7枚の紙を見付けて来たのです。最後の11章の言葉は独乙語で書かれたと云われていま

す。作者が独乙生れだったからです。

この草案を作ったグループは牧師のパーキンスを初め約6人のメンバーで、所謂委員会作業の完全な実例であります。今日のような、効率的なものでなく、その場その場で皆んなのちえを出し合って作ったもので、汽車がヒューストンの郊外に達する迄には、作業は全部完了しました。この草案を協力者のシカゴ R.C のアングスターに大声で朗読しますと、アングスターは“これは素晴らしい、恐らく大会の代議員もみんな OK するだろう、君等は素晴らしい仕事をやりとげた”と云って喜んでくれたのであります。

かくして1914年のヒューストン大会で、この5,000語に及ぶ言葉を500語に要約し凝結されたロータリーの道徳律が発表され、やがて1915年のサンフランシスコ大会でこの道徳律の一語一語が公式に承認され、次の40年間に亘ってロータリーの組織の光明として輝き各国語に翻訳され、世界中のロータリーアンの壁に掲げられたのであります。

然しながら時代と共に、ロータリーアンの考え方も変って来まして、今度は彼等は、もっと簡約した言葉で鋭く訴えるもの、日夜即座に彼等の思考を指示する、もっと覚え安い言葉を求めて来ました。道徳律の様に詳細に書かれた文章でなく、亦道徳律の補助の様なものでもない、より現実的な、より有効な、実践的な表現を求めて来たのであります。

この要請に、期せずして答えてくれたのがハーバートテラーの“四つのテスト”であります。彼は求められてこれを作ったのではなく、たまたま1630年の世界不況の中で、ある到産会社のクラブアルミニウム会社再建のために、経営理念として1931年に彼が案文したのがこの四つのテストであり、次第にロータリーアンの間に広まり、後年彼が R.I 会長の時にその版權を R.I に譲渡しロータリーの職業奉仕の公式用語とした事は皆様既にご承知の通りであります。この様な経過を経て、1951年の R.I 理事会は、道徳律の一般広報、印刷を中止する事を決定して今日に至ったのであります。奇しくも、本年のサンフランシスコ大会に於て、再度リバイバルの状況に立ち至ったのであります。

今日の世界の人々が期せずして、最近の商業道徳の低下を憂えて、今一度原点に帰って、この道徳律を勉強し直そうと云うのが、今回の規定審議会の決議になった。

私はこの道徳律を読み、それが出来るまでの経過を知って、今更ながら先輩ロータリーアンの真剣なロータリーへの熱情を知りました。この道徳律はすべての職業人に通ずるロータリーの倫理のおきてと銘打ってありますが、単にロータリーの職業奉仕の指針のみでなく、ロータリーの本質を述べているものと思つて居ります。

この倫理のおきてを如何に現代の経済生活に適用させるかが、我々に与えられた課題であり所謂リバイバルの所以であるかと思うのであります。来月の16日に山形で地区の職業奉仕研究会を開催いたします。福島県は郡山で開催いたします。既に山形は約84名、郡山は約116名の方が参加申し込みをして居られます。主たる研究テーマは“ロータリーの道徳律と現代経済生活との関聯”と云うのであります。色々なご職業の立場よりご意見の発表があるものと存じます。何卒皆様方も、更にこの道徳律をご検討頂き当日出席予定の会長、職業奉仕委員長の方々にご意見をご連絡願いたいと思います。

最後に申し上げたい事は、この道徳律の説く所は、既に先哲は勿論、渋沢先生をはじめ先輩実業人が思考せられ実践せられて居るところ、多々あります。この道徳律がロータリーとしての最大特色は、ロータリーアン個人個人が各々一業一会員の原則の下に、互いにこのおきての下に切磋琢磨する所にあると思考する次第です。ジャック・プライドの言を借りますれば、

The principle of Rotary should make me be a better man: A better example to others.

(ロータリーの本質は、我々を他の範となる様な善い人間に陶冶してくれる事だ)と云う事に他ならぬと思うのであります。

出席報告

本日の出席	会員数	70名	欠席者	早坂(徳)君、角田君、中野(清)君、板垣(広)君、佐藤(衛)君、笹原君、津田君、中村君、藪田君
	出席数	61名		
	出席率	87.14%		

前回の出席	前回出席率	75.71%	メイクアップ	笹原君一仙台R.C 板垣(広)君、三井健君一酒田東R.C 嶺岸君一温海R.C 安藤君、半田君、風間君、黒谷君、小松君、三井(徹)君、斎藤(得)君、手塚君一鶴岡西R.C
	修正出席数	65名		
	確定出席率	92.86%		